

# 大学図書館問題研究会 京都

京都市左京区吉田本町 京都大学教育学部図書室 (竹村心気付)

TEL 075-753-3013

## 上海の図書館を訪ねて

立命館大学図書館 若井勉

今年の10月3日から10月10日まで大阪上海図書館学術交流団の1員として上海市を訪れ、上海市図書館学会との交流をしました。詳細な報告は『図書館界』の近刊にでる予定であり、学術的な報告はそれを待つとして、特に印象に残った点とその感想を記します。

### 1. 競馬場が図書館に

上海市は中国第2の都市であり、学術的な点から日本でいえば京都に位置する都市です。早くから西欧化のすすんだ開放的な街の雰囲気随所に漂わせています。上海図書館は中国革命後、すぐに創立されましたが、何と廃止された競馬場の建物を利用して創られたものです。そのためか上海図書館の正面の塔は非常に高く、大時計盤から下へ赤地の上に白字で「尊重知識、尊重人才！」と書かれた垂れ幕がつるされるほどです。施設は利用者にとっては少し使いにくいものとなっており、スペース不足や近代化・電算化の遅れを解消するため、1996年オープン为目标で新館建設の準備が着々とすすめられています。なお、競馬場の馬場の部分は人民公園となり、50万人の集会が出来る広場があります。

上海図書館は年中無休の365日開館で、開館時間は午前8時から午後9時までです。650人の職員で管理・運営しています。300万冊の古(漢)籍をはじめ1000万冊の蔵書を持ち、約30万冊開架されています。1日平均2000人が利用し、4000冊の資料が提供されています。利用対象者の重点は学術研究であり、国家の事業に奉仕することも大きな仕事となっています。したがってその機能はモスクワのレーニン図書館と同様に大学以上の貴重な資料をおき、研究者はここを利用するようになってきました。その他、学校、職場、地域にもそれぞれの利用対象別の図書館が設置されて、ネットワーク化がされていますが、スローガンでも分かるように教育機関としての機能と役割を担うことが中心となっています。ちなみに初代の図書館長は上海市長であった陳毅で正面入口に「上海図書館」の字を揮毛しています。

## 2. DIALOG, BIBLIOPILEと図書カード

上海市で最も近代的な大学図書館と言われている上海交通大学包兆龍図書館私たちが訪問しました。この図書館は16階建の面積26162平米の建物で、2400の座席（学生数13000人）と170万冊の蔵書、現行雑誌は6000点、20万件の資料を有しています。図書館員は250人です。名前のおり華僑の包氏の寄付によって1985年に建設されたものです。最下、DBづくりとOPACの開発が急速にすすめられています。中国では国立の主要な大学や科学院などの研究機関を中心に全国の学術情報システムづくりが盛んにすすめられており、上海交通大学も上海科学院と協力しながらシステム開発がすすめられています。北京大学の開発したシステムを他の大学に普及したりして、その進め方はいくつかの大学と研究機関が重点的な課題毎に開発をすすめ、それを国家レベルで判断し、よければ、全国的に採用していくという方法をとっています。したがってトータルにはシステムが系統的になっていないように思われます。図書館界は今、コンピューター化への移行期であり、古籍は以前としてマニュアルによるカード目録がつくられ、上海交通大学ではコンピューターによる処理が行なわれ一方、洋書はBIBLIOPILE（CD-ROM）からデータを印刷原稿を作成し、謄写板を使ってカード目録を手で印刷しており、近代化が部分的にしか行なわれず、アンバランスなやり方で10年以上前の日本の試行錯誤の状況ににています。手刷りのカードが独特のカード立てに差し込まれインクをかわかしている昔ながらの情景に接しなつかしささえ覚えめました。DIALOG検索室と同じフロアにあるカバンを入れるロッカーの鍵に飾りが色とりどりついていました。なかなか面白いと思って聞いてみるに南京錠は各自が持参し、鍵をかけるシステムになっており、各自が自分のものが分かるようにそれぞれおしゃれの飾りをつけるからなのです。

## 3. 本の展示・特売会

上海図書館の閲覧室の1階入口には図書販売コーナーがあり、児童書の特売会が行なわれていました。中国ではこれが変わったことではありません。時には、古本が販売されることもありますし、書店毎のフェアもテーマが設定されて販売されるのです。ある面では日本でも有効かもわかりません。営業（利益）行為という概念とは全く関係なく行なわれることが出来るところに社会主義社会かなと思わせます。2階の閲覧室の中の壁面に新華書店をはじめ多くの書店の新刊が展示されているのも面白く感じました。

## 4. WANTED! 本泥棒にはプライバシーなし

上海図書館閲覧室入口に白墨で氏名と金額が書かれた黒板がつってありました。当初、延滞のペナルティーかと思って近づいてよく見ると、なんと本泥棒

の名前と罰金が書かれ、それを見つけた「利用者（密告者）」と賞金が書かれていたのです。本泥棒は重罪なのです。本を盗んでまで勉強したいという花泥棒は許されないのです。ましてや泥棒のプライバシーの権利などは全くないのです。中国では国家のための図書館であり、まだまだ、個人の自由な読書や研究のための視点は少ないように思えました。

## レファレンス・デスクから ー京都大学附属図書館ー

12月14日、レファレンス担当の私達の係で記録している「文書による問い合わせノート」の受付No. が1200になりました。今年度初めからの通し番号で、学内の分は除いてあります。

昨年位からファックスでの所蔵調査が急増しています。調査依頼を送って来られ館は大体1～5位くらいまで決まってきました。利用者が閲覧に京大に来ることができる京都市内、近畿圏内の大学が上位を占めています。

「学総目」に載っている場合は確認のために、「学総目」に載っていない場合は、所蔵無の確認をとるためでしょうか、どちらの場合も多数の依頼があります。この様な大学の学生は良い図書館サービスを受けられて仕合わせだなあ。と思う反面、自分は一体どこの図書館でだれのために参考業務をするべきなのだろう。と疑問に思うことがあります。特に今年は4月から11月まで掛長が空席だったので、一名減員のうえに、掛長の仕事も係員がしなければならない場合もあり、実質2～3名で業務をこなしてきたので、外部からの調査依頼に追われるとつい、その様な感じにとらわれてしまいます。勿論、レファレンス・カウンターで受けた学内の利用者からの質問や、電話での学内利用者からの調査は優先させているのですが、そのような受け身のサービスだけではなく、オリエンテーションや利用案内作りに力を入れたいと思うのですが。

京大の様な大規模で複雑な図書館（室）組織の実情を良く知っている人程事前に調べてからでなくては、足を運んで行けないとおもわれるのも無理のない話です。だからこそ一生懸命、FAXでの調査には速く答えなくてはと、回答に励んでいるのです。ところが、いざ、閲覧に来館される利用者は私達が回答に書き入れた請求記号や、所蔵館・室名を知らされていないことが多々あります。閲覧カウンターで二度手間をかけることになってしまいます。

ファックスで参考質問書を送っていただくことは、電話より余程正確なので歓迎なのですが調査済みの参考図書等を書く、自館で可能なかぎりの調査をしてから他

の館に聞くようにしてほしいと思います。又、最近では、学術情報センターと接続して目録を入力している大学も増えてきました。目録作成だけでなく、参考業務、図書館間相互利用にも是非、学情センター検索を利用して欲しいとおもいます。

ネットワークの時代だからこそ、お互いの仕合わせのために、相互理解が欠かせないものになっていると思わせられる日常です。

(参考調査掛 堤 美智子)

## 第2回支部委員会記録

日時 1990年12月 4日(火) 18時30分～21時

場所 京都橘女子大学図書館

出席 篠原, 堤, 竹本, 竹村, 大館, 橋本, 小林, 松原, 西野

欠席 西川(オブザーバー)

議長 竹本

### 1. 報告

(1) 情勢討議 (2) 新春5 支部合同例会(1991.1.26) について (3) 大図研太学について—日本近代史資料論(11.10, 9名) 英書講読(11.10, 4名) 科学史(11.10, 3名) 収書論ゼミについて(11.21, 全員参加) (4) 班会について (5) JLA 評議員選挙について

### 2. 協議事項

(1) 「求める資料を求める人の手に」の具体化について—支部委員会での討議。会員から広く原稿を募集する。各大学で班会を開き「求める」の討議を行う。具体的企画—大図研大学「理工学文献案内」「江戸文学資料論」、年報京都の大学図書館の編集発行 (2) 支部報について—読まれているか? 読まれ支部報とは

### 新春 近畿5 支部合同例会

図書館60年—思い出と感想

講師・南 論造氏(日本図書館協会顧問)

日時・1991年1月26日

14時30分～17時

場所・神戸市勤労会館5階青少年会館